

専門試験—上級—行政事務（情報）・警察事務（情報）

〔 No. 1 〕 消費関数に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ケインズ型の消費関数によると、限界消費性向は可処分所得にかかわらず一定であり、平均消費性向は可処分所得が増加するにつれて上昇する。
2. ケインズ型の消費関数の性質は、短期の時系列データを用いて推計された消費関数より、長期の時系列データを用いて推計された消費関数に当てはまりやすい。
3. ライフサイクル仮説によると、家計は可処分所得が多い時期にその一部を貯蓄し、可処分所得が少ない時期の消費に充てることによって生涯を通じて消費を平準化する。
4. 将来の所得の増加が見込まれている家計が借入れを制約されることは、ケインズ型の消費関数の説明力が高まる要因ではなく、ライフサイクル仮説や恒常所得仮説の説明力が高まる要因である。
5. 家計が、ケインズ型の消費関数に従って行動する場合と、ライフサイクル仮説に従って行動する場合とでは、一時的な所得税減税によって現在の消費が増加する効果は、後者の方が大きい。

〔 No.2 〕 以下の文のA, B, Cに入る語句について, 最も適切なものはどれか。

「デジタル署名は公開鍵暗号を応用した技術であり, 署名の作成者(署名者)のなりすましの検知やデータの改ざんの検知などができるという特徴を持つ。あるデータの署名を作成する際は, 署名者はデータの(A)に対して(B)を用いて署名を作成する。データと署名を受信者に送り, 受信者が署名を検証する際は, 受信者は(C)と受信したデータと署名を用いてデータに改ざんがないかどうかの検証を行う。」

A	B	C
1. 平文	署名者の公開鍵	署名者の秘密鍵
2. 平文	受信者の公開鍵	受信者の秘密鍵
3. メッセージダイジェスト	署名者の秘密鍵	署名者の公開鍵
4. メッセージダイジェスト	署名者の公開鍵	署名者の秘密鍵
5. メッセージダイジェスト	受信者の公開鍵	受信者の秘密鍵